

エコアクション21

環境経営レポート

令和2年度

(令和2年4月～令和3年3月)

令和3年6月5日



認証番号0005722



株式会社 伸 晃 建 設

目 次

1.	組織の概要	P1
2.	対象範囲（認証・登録範囲）	P2
3.	環境経営方針	P3
4.	環境経営目標	P4
5.	環境活動計画及びその取組結果とその評価、 次年度取組内容	P5・P6
6.	環境経営目標の実績	P7
7.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の 結果並びに違反、訴訟等の有無	P8
8.	代表者による全体評価と見直しの結果	P8
9.	支援活動	P9

1. 組織の概要

1. 事業所名 株式会社 伸晃建設
代表者氏名 代表取締役 栗山重行
2. 所在地 〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町378-1
3. 環境管理責任者 工事部長：中山忠幸
担当責任者 工事部長：中山忠幸
連絡先 TEL 0942-81-2930
FAX 0942-81-2931
E-mail shinko.k@shinko-web.co.jp
4. 事業の内容 総合建設業 佐賀県知事許可（特-29）第9640号
建築工事業、土木工事業、舗装工事業
解体工事業、管工事業
5. 事業年度 令和1年8月1日～令和2年7月31日（決算 7月）
運用期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日

6. 事業の規模

	単位	H30年度	令和2年度
売上高	百万円	749	1,047
従業員数	人	13	16
本社床面積	m ²	88	88
倉庫床面積	m ²	28	28
資材置場面積	m ²	48	48

7. 法人設立年月日 平成13年2月6日
8. 資本金 30,000,000円
9. 取得資格名及び有資格者数 一級建築士：1名
二級建築士：7名
一級建築施工管理技士：6名
二級建築施工管理技士：2名
一級土木施工管理技士：5名
二級土木施工管理技士：3名
二級造園施工管理技士：1名
一級管工事施工管理技士：2名
二級建設業経理事務士：2名
宅地建物取引主任者：2名

2.対象範囲（認証・登録範囲）

1. 事業所名及び所在地 株式会社 伸晃建設
〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町378-1

2. 活動範囲
建築工事業
土木工事業
舗装工事業
解体工事業
管工事業

上記の全組織、全活動を対象とする。

3. 環境経営方針

【基本理念】

株式会社伸晃建設は、事業活動を進めていく上で「人にも地球にもやさしい」を理念に地球環境の保全を重要課題との認識に立ち、自ら責任を持ち全社員一丸となり、事業活動のあらゆる面で積極的に継続的に自然環境への負荷の軽減に取り組み「環境にやさしい社会」づくりに取り組みます。

【活動方針】

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 建設（建築・土木）資材の省資源、廃棄物の3R(削減、再利用、再生利用)の推進。
- ③ 水資源使用量の節減。
- ④ 事務用品グリーン購入の推進
- ⑤ 建築土木の再生資源使用の推進
- ⑥ 地域貢献活動

これらについて環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規を遵守し、環境保全に努めます。

3. 行動指針は全従業員に周知し、その達成に努めます。

4. 環境活動レポートは一般公開します。

制定 平成 22年 3月 1日

改定 平成 26年 8月 1日

株式会社 伸 晃 建 設
代表取締役 栗 山 重 行

4.環境経営目標

運用期間（令和2年4月～令和3年3月）

環境目標	区分	基準年	中期目標		
		H30年度 実績値	R2年度 (▲2%)	R3年度 (▲3%)	R4年度 (▲4%)
二酸化炭素排出量 kg-CO2/年	事務所	59,136	57,953	57,362	56,771
	現場	18,323	17,957	17,773	17,590
	合計	77,459	75,910	75,135	74,361
一般廃棄物排出量 t/年	事務所	0.65	0.64	0.63	0.62
	合計	0.65	0.64	0.64	0.63
産業廃棄物排出量 t/年	現場	206	202	200	198
	合計	206	202	202	200
水使用量 m ³ /年	事務所	80.0	79.2	79.2	79.2
	現場	61.0	60.4	60.4	60.4
	合計	141.0	139.6	139.6	139.6
建築、土木の再生資材の使用 t/年	現場	270	270	270	270
グリーンマーク、エコマーク 製品の購入 品目数	事務所	5	5	6	7
地域貢献活動	事務所・現場	12回/年	12	12	12

※電気使用に係る排出係数は、九州電力は平成30年度調整後排出係数0.462kg-CO₂/kWhを使用した。

5. 環境経営計画及びその取組結果とその評価、次年度取組内容

取組目標	区分	活動項目	取組結果	評価	次年度の取組内容	
二酸化炭素量の削減	事務所	① エアコンの温度設定（冷房26°C、暖房22°C）	○	電気使用量は、エアコンを取替えサーキュレーターの台数を増やした。また不在時には消灯の徹底したことにより電力削減できた。	コロナ感染防止のため、事務所内換気を実行しながら温度調整し、電力削減に努める。	
		② 必要箇所以外の消灯、不在時の消灯	○			
		③ OA機器の節電、未使用時の電源OFF	○			
	現場	① エアコンの温度設定（冷房26°C、暖房22°C）	○			
		② 必要箇所以外の消灯、不在時の消灯	○			
		③ OA機器の節電、未使用時の電源OFF	○			
ガソリン 軽油使用量の削減	事務所	① アイドリングストップの推進	○	燃料においては、稼働台数が増えたが今年度は遠方現場が少なく、また車両の定期点検をし、目標達成することができた。	車両は定期点検を行い燃料削減に努める。	
		② 給油時のタイヤ空気圧点検	○			
		③ エンジンオイルの定期的な点検	○			
	現場	① アイドリングストップの推進	○			
		② 給油時のタイヤ空気圧点検	○			
		③ エンジンオイルの定期的な点検	○			
産業廃棄物の削減	事務所	① 紙使用量の削減	○	分別の徹底し、資源回収等を利用し、目標達成できた。	裏紙の再利用、一般廃棄物の分別。	
		② 一般産業廃棄物の分別収集	○			
産業廃棄物の削減	現場	① 現場での資材の省資源、産廃の推進	○	産廃は工事現場での発生が多く、達成できなかった。	産廃の分別の徹底。	
水使用量の削減	事務所	① 節水を心がける	○	事務所では手洗いの増加 現場では解体現場の増加により達成できなかった。	コロナ感染対策の手洗いをし、こまめに蛇口を閉め節水に心がける。	
		② シールを作成し節水への意識を高める	○			
	現場	① 節水を心がける	○			
		② シールを作成し節水への意識を高める	○			
の源再 推使生 進用資	再生資材の使用の推進	現場	① 再生資材の優先購入	○	再生CRの優先購入できた	環境に配慮した製品の購入を推進する。
のング 推購リ 進入	グリーン購入の推進	事務所	① グリーン製品の優先購入	○	エコマーク商品をチェック。優先して購入。今後も継続。	環境に配慮した製品の購入を推進する。
地域 貢 献 活 動	地域貢献活動	事務所 現場	① 会社周辺のゴミ拾い	○	月一回、会社周辺のゴミ拾いは社員一同参加達成。今後も地域貢献活動に積極的に参加する。	次年度も地域に貢献する。

地域貢献活動

月に一度、社員一同が会社周辺のゴミ拾いをし、地域清掃活動を応援しています。



6. 環境経営目標の実績（令和2年4月～令和3年3月）

【事務所】

環境経営目標	単位		基準年 (H30年度) 実績	令和2年度		目標率	目標達成 の判定
				目 標	実 績		
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	事務所	59,136	57,953	57,608	100.6%	◎
		現場	18,323	17,957	18,251	98.4%	×
		合計	77,459	75,910	75,859	100.1%	◎
一般廃棄物排出量の削減	t	事務所	0.65	0.63	0.26	242.3%	◎
産業廃棄物排出量の削減	t	現場	206	202	430	47.0%	×
水使用量の削減	m ³	事務所	80	79.2	119.0	66.6%	×
		現場	61	60.4	365.0	16.5%	×
		合計	141	139.6	484.0	28.8%	×
再生資材の使用の推進	t	現場	270	270	270	100.0%	○
グリーン購入の推進	品目	事務所	5	5	5	100.0%	○
地域貢献活動	回	現場 事務所	12	12	12	100.0%	○

判定基準 ◎101%～ ○90%～100% △80%～89% ×80%未満

※電気使用に係る排出係数は、九州電力H29年度実排出係数0.463kg-CO2/kWhを使用した。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

2020年は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、「新しい生活様式」として

1.身体的距離の確保、 2.マスクの着用 3.手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の対策を避ける等の対策を取り入れた生活様式を実績することが求められています。

暖房、冷房時でも窓の開放や換気を行う必要があるので室温温度の確保が難しい状況のなか、こまめな温度設定を行い、電力削減の目標が達成できたことは大変良かったです。

今なおコロナ収束の時期が見通ない状況ではありますが、一人一人が出来るコロナ対策をし、次年度も環境負荷削減し、地球環境維持に貢献します。

当社はエコアクション21を通じて、建設廃棄物の排出等の環境負荷をより一層低減に努めることにより社会貢献出来る様、来年度も社員一丸となり環境へ取り組みます。

9.事業活動

佐賀県鳥栖市に本社を置かれています久光製薬株式会社様の女子バレーボールチーム「久光スプリングス」の法人パートナーとして、社会・地域・スポーツ界の発展にバレーボール事業を通じて応援します。



建設業労働災害防止協会 佐賀支部より、安全管理専任者として一つの事業場に継続して5年以上にわたり安全実務に当たり、その事業場の安全水準の工場発展に寄与したとして会員会社より推薦され、弊社写真が「安全功労賞」を受賞されました。

